

# 治療RIS(放射線治療業務システム)導入による

## ハイパーサーミア業務の効率化

臨床工学科 元村哲也、嶽本洋  
放射線科 廣瀬哲雄、寺嶋廣美

### 【目的】

治療RIS(放射線治療業務システム)は治療部門内の情報を統合し病院全体へ放射線治療情報の提供を行う、放射線治療に特化したシステムである。

当院では平成26年11月に放射線治療を開始し、それに伴い治療RISを導入しハイパーサーミアと連携させたのでその結果を報告する。

### 【方法】

治療RISでハイパーサーミア業務の業務効率化と連携強化を目指してカスタムし、サーモシュミレータや治療データを蓄積できる画像サーバを設けるためソフトをバージョンアップした。

### 【結果】

ハイパーサーミア部門と放射線治療部門の情報を共有できるようになり、サーモシュミレーションの簡略化など業務が効率的になった。

### 【考察】

治療RIS導入により業務が効率的になったことはスタッフの負担の軽減とミス防止に繋がると考える。